

総合演習B

神戸大

陰山

_note09 (第4Q)

成績（再掲）

- ▶ 今週が最終回
- ▶ コードと説明文をBEEFで提出
 - tarballと説明文
 - 締め切りはこの授業終了時間（12時20分）
- ▶ makeと打つだけでプログラムが動く（少なくともエラーメッセージを出す）ようにすること

成績評価基準

- ▶ 基本方針は以下の通り（全体の状況を見て多少変更する可能性あり）

提出なし	「不可」
少なくとも何か提出	「可」 以上
テンプレートをベースに書き加えた。 SmoothLifeがあと少しで実装できそう	「良」 以上
SmoothLifeが実装できた	「優」 以上
テンプレートを参考にせず自力でSmoothLife が実装できた	「秀」

工夫・改良

▶ 独自の工夫や改善には加点をする。

▶ 例:

- SmoothLifeのアルゴリズムの改良
- Templateプログラムの改善
- 面白いふるまいを見せるパラメータの発見など
- OpenMPによる並列化

方法: Makefileで

(1) コンパイラをgfortranに変更し、

(2) コンパイラオプションに-fopenmpをつける

- MPIによる並列化（ちょっと大変）